

天界

(第 22 卷)

第 2 5 4 號

昭和17年第 8 號

京大 印
17.7.3 受付
113

本 號 要 目

口繪寫眞：1941年十月の火星スケチ (2)

巻頭隨筆：近江と天文學……………山本一清 243

時刻の改正に際して…………… 245

1941年度對衝に於る火星協同觀測結果報告(2)〔紀要76〕伊達英太郎 246

天界正誤表…………… 250

中等學校に於ける天文教材論 (2)……………山本一清 251

問 答 (1件)…………… 255

遊星惑星源流考 (2)〔紀要77〕……………井本進 256

流星と隕星……………N. T. ボブロフニコフ 259

標準天文用語表 (8)…………… 262

流星觀測入門 (2)……………小槇孝二郎 264

觀測部月報：太陽・流星・黃道光・彗星…………… 269

た よ り…………… 273

たてぐみ 太陽は巨大なサイクロトロン……………山本一清(371)

1942年

八月の天象

(時刻は日本標準時)

Heavens of August.

大陸は一般に七月が一年中の最も暑い時節であるが、日本内地のやうに四周大海に圍まれた土地がらでは、(水の比熱が大きい關係から) 八月の方が七月よりも平均すると一層暑い。曆では、八月8日が立秋、24日が處暑となつてゐるが、之れは皆、昔の支那大陸の季節を表はす文字であるから、そのまま輸入して來た日本では、かうした言葉に合致しない點があるのも止むを得ない。

又、さきに太陽熱が一大極小を示した1922~1923年頃から數へて、今年年は丁度太陽活動の一週期(22ヶ年)を経た時であるから、全世界を通じて、氣候に何か不順の徴候がないとも限らぬ。夏の暑さについても、冬の寒さについても、宇宙の推移に關心を有つ人々は、注意を怠つてはならない。

月は、初旬の4日が下弦、それから12日が新月で、舊曆の七月朔、19日が上弦、26日が満月である。何も知らない人々は、新曆の七月7日に七夕祭をやるかも知れないけれど、本當は此の八月の18日が正しい七夕祭りの日である。

12日の正午の前後、南インド洋から南極大陸へかけて日蝕の部分蝕が起る。蝕分は最大が0.055に過ぎない。それに、遠方で、萬事不便であるから、(又、戦時でもあるから) 誰も觀測はやらないだらう。

26日の正午頃には、又、月蝕皆既が起る。日本から言へば、丁度これは脚下の世界で、南米ブラジルあたりの夜半に當る。ドイツの潜水艦などは、之れを利用して特別な作戦でもするか知れない。東洋には全く之れは無縁の現象である。

水星は宵の星だけれど、低くて駄目、金星も太陽に近い。火星は遠い。しかし土星と天王星とは、夜半後の東天に良く見えるやうになつて來た。木星も此の月から觀測の時期に入る。晝間は暑くて、仕様が無いのだから、早く寝ね、早く起きて、かうした美しい星々を楽しむべし。

流星も良い。黄道光も、日本では、もはや早曉の東天に見える。

彗星の搜索は、日出前にも、日没後も、怠らずにやれば、必ず收穫はあるものである。

頒布印刷物目錄

題 目	執 筆 者	定 價	送 料
○變 光 星 報 告 (14年度前半)	倉 敷 天 文 臺	10	4
○ " (14年度後半)	"	10	4
○ " (15年度前半)	"	10	4
○新撰天文エハガキ (一組8枚) {コロタイプ版 {プロマイド版		30 1.50	4 4
○流星群の速度決定の一方法	小 旗 孝 二 郎	10	4
○黃道光の光度について	下 保 茂	10	4
○流 星 觀 測 入 門	小 旗 孝 二 郎	20	4
○ガ リ レ オ 傳	山 本 一 清	30	4
○印 度 洋 航 海 日 誌	"	20	4
○學 術 と 宗 教	"	40	4
○標 準 時 に 就 いて	"	10	4
○對日照の變化に就いて	醍 醐 正	10	4
○火星協同觀測結果報告 (15年)	伊 達 英 太 郎	20	4
○計算圖表に依る變星光度計算	内 藤 一 男	15	4
○星 か げ (歌集)	錦 織 久 良 子 編	1.20	12
○滿洲の氣候と天上の花	水 野 千 里	30	4
○標 準 天 文 學	山 本 一 清	2.00	20
○彗 星 總 目 錄 (英文)	山 本 進		非 賣 品
○1921年のボンキネケ 彗星に附隨せる流星觀測 (英文)	山 本, 中 村	20	4
○携帶用寫真眼鏡兩用反射鏡に關する試作概況	藤 波 重 次	20	4
○黑點の相對數式觀測法に就て	大 石 辰 次	10	4
○昭和16年度太陽課綜合報告	"	10	4
○シンクロノムの新天文時計	高 城 武 夫	20	4
○緯 度 觀 測 事 業	木 村 榮	10	4
○太 陽 面 經 緯 度 圖 (8枚一組)	山 本 一 清 監 修	50	4
○簡 易 星 圖	"	20	4
○草 場 恒 星 圖 (解説書付)	"	50	4
天 文 寫 真 第 1 輯 (既刊14種)	本 會 (一枚)	1.40	不 要
天 文 寫 真 第 2 輯 (〃 3種)	"	1.00	不 要
天 文 寫 真 第 3 輯 (〃 2種)	"	6.00	不 要
1941年皆既日蝕山本博士放送録音(一枚2面)	"	2.00	30

會員に關する報告

〔入會者〕	電氣科學館(大阪)	波多野 哲(札幌)
府立實工天文部(東京)	正田 源一(大阪)	山根 平三(東京)
本多季麿(神戸)	鈴木 正名(名古屋)	

〔觀測部入部〕	鈴木 堅二(京都)	府立實工天文部(東京)
久井清司(大阪)	正田 源一(大阪)	新潟高校天文研究部
静岡商業理化班	三谷 哲康(布施)	鈴木 正名(名古屋)

(注意): 御移轉の節には直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。觀測部(へ入部)の方は其旨附記して下さい。

昭和17年分會費部費領收者芳名

會費(4圓)	鈴木 堅二(京都)	吉田千枝子(臺灣)
西山峰雄(福岡)	瀧口 宏(東京)	岸和田中學理化班
西村繁次郎(京都)	波多野 哲(札幌)	小川清雄(東京)
府立實工天文部(東京)	土田米三郎(東京)	久井清司(大阪)
田中六也(大阪)	山田達雄(名古屋)	山根平三(東京)
羅增林(臺灣)	臺北天體觀測同好會	新潟高校天文研究部
中島正雄(大阪)	清水 勝(大阪)	齋藤英一郎(東京)
醍醐 正(東京)	醍醐 瑛(横濱)	天文研究會(神戸)
内海龜祐(大阪)	坂根榮正堂支店(東舞鶴)	鈴木 正名(名古屋)
五中天文研究會(東京)	水野良平(東京)	本多季麿(神戸)
久貝良夫(東京)	栗山 一郎(京都)	狐塚泰治(大阪)

會費(一部完納)	正田 源一(大阪)	神谷 健一(東京)
小林義惠(東京)		

部費(2圓40錢)	鈴木 堅二(京都)	西山峰雄(福岡)
小川清雄(東京)	府立實工天文部(東京)	久井清司(大阪)
臺北天體觀測同好會	醍醐 正(東京)	天文研究會(神戸)
静岡商業理化班	鈴木 正名(名古屋)	清野哲男(山形)

部費(一部完納)	正田 源一(大阪)	三谷 哲康(布施)
----------	-----------	-----------

部費(3圓50錢)	臺北天體觀測同好會	小川清雄(東京)
-----------	-----------	----------

部費(一部完納)	西山峰雄(静岡)	
----------	----------	--

地方委員表

() は 電 話

塚田 豐治 札幌市、札幌第一中學校
 川崎 俊一 } 岩手縣水澤緯度觀測所(水澤1)
 山崎 正光 }
 森下 功 福島縣會津中學校
 內藤 一男 群馬縣太田町東長岡甲851
 渡邊精吉郎 東京市杉並區落窪1丁目17
 古畑 正秋 東京市上野公園科學博物館內
 五藤 齋三 { " 世田谷區三軒茶屋143
 (世4838)
 富田弘一郎 " 區玉川用賀2の1097
 土居 客郎 " 芝區南佐久間町2の4
 稻垣 武五 " 田町6の19
 小森 幸正 甲府市甲府放送局構內官舎
 上條 清人 松本市榮町
 中澤 登 長野縣埴科郡東條村
 沓掛 七二 " 小縣郡青木村村松
 清水 眞一 靜岡縣島田町(159)
 大石 辰次 " 志太郡吉永村吉永1768
 細野 貞 新潟市古町通り三番町
 廣瀨永治郎 岐阜縣美濃町
 小澤 喜一 名古屋市西區西萬町3
 河路甲午郎 愛知縣鳴海町白山110
 小楨孝二郎 和歌山縣有田郡金屋(金屋30)
 坂元 鐵馬 奈良市法蓮寺町1095
 木邊 成麿 滋賀縣野洲郡中里村(中里30)
 宮田 悅藏 滋賀縣八幡町池田町5(335)
 山本 進 " 草津町大路井420
 藤井 守一 大津市石場濱(大津1450)
 垂井増太郎 京都市明倫小學校(本2236)
 小穴 匡雄 " 七條大宮泉商會社宅
 宇野 良雄 " 上京區紫竹下芝本町72
 吉岡 久男 " 上京區出雲路立本町14
 百濟 敎猷 大阪市南久太郎町4丁目17
 西川 英男 " 住吉區阪南町中3丁目
 前田德次郎 " 田邊東の丁4の26
 山崎 幸夫 " 帝塚山中4丁目
 小尾 榮松 " 安土町2丁目(本805)
 西村 傳次 " 市岡中學校(西110)
 高城 武夫 " 四橋電氣科學館(新町1)
 宮森 作造 " 大手前高女(東41)
 廣野熊治郎 " 南區安堂寺橋3丁目(兼1499)

田村 文造 大阪市東淀川區長柄西通1の14
 梅本 恒夫 " 天王寺區逢上町34の1
 大口 周作 " 東區豊後町25(東3457)
 井伊 秀勇 大阪府豊中中學校(岡町118)
 井本 進 兵庫縣武庫郡本山村岡本高石
 伊達英太郎 阪急沿線雲雀ヶ丘(池田2546)
 村山 辨次 西宮市今津町水波103
 吉田源治郎 " " 高潮67
 小泉 功 " " " 68
 改發 香鳩 神戸市須磨區關守町(須磨140)
 荏 部 進 " 灘區高羽ソワ山(御影3546)
 美田 爲三 " 須磨離宮西町1の23(須磨938)
 神田 壹雄 " 林田區荻藻通1ノ8
 宮原 節 岡山市國富本町476
 原 澄治 倉敷市本町(75)
 森本 慶三 津山市山下()
 松本 義一 尾道市久保町1453の1(752)
 眞田 安夫 廣島市白鳥東中町71
 村上 忠敬 廣島高等師範學校
 本田 實 廣島縣沼隈郡瀬戸村觀測所
 惠藤 一郎 山口市縣立教育博物館(294)
 河端 定惠 愛媛縣新居濱市山田
 飯 義壽 今治市片原町(54)
 古賀 和吉 大牟田市通町2(2264)
 有田 邦雄 長崎報時觀測所(580)
 吉田千枝子 臺灣高雄州旗山526の3
 松本 武男 " 彰北高女()
 吉村 昌久 臺北市公會堂事務所
 蔡 章 獻 臺北市入船町1の52
 河合 孝一 大連市滿鐵本社福祉課共濟係
 橋田 義壽 " 錦町1の19
 後閑 茂樹 滿洲國撫順新屯小學校
 角田 清彦 { 中華民國、北京、石駟馬大街
 21號、北京新民報社
 津野田誠吾 中華民國汕頭病院
 熊田 儀助 { 920 Punahou St., Honolulu,
 Hawaii.
 高村 正兄 { 3728 Monon St., Los Angeles,
 Cal., U. S. A.
 神屋 信一 { 454, Rua Dr. Thomas da
 Lima, S. Paulo, Brazil.

地方委員規定

第1條 地方=アル會員中ノ有志者ヨリ特=適任者ヲ推擧シ地方委員トスル。

第2條 地方委員ハ本會ノ主旨=基キ、其ノ諸事業ヲ援助シ又一般會員ヲ指導獎勵スル。

天文寫眞既刊目錄

皆、非常に珍しいもので、始めて頒布されるもの、又は日本では殆んど手に入らぬものばかりです。すべて説明文つきです。

天文寫眞（第1輯）一枚に付き金1圓40錢（送料共）

1. 土星 リク天文臺にて觀察されたもの。今回の接近の記念として絶好品。
2. ベルリンの皆既日蝕 1937年六月8日、花山の觀測隊が撮影したもの。
3. ファインストラ彗星 1937年七月、賑かなベルセ星座を北進する景觀。
4. 盛装のアインスタイン博士 相對原理の創設者の見事な肖像。
5. 小マゼラン雲 近年の宇宙研究上に有名な天體で、日本では見えない珍星。
6. オリオン大星雲 白く輝く蝶ネクタイ型の大ガス星霧。一幅の大宇宙畫。
7. ヘルクレス球狀星團 望遠鏡で見得る最大なる宇宙の一つ。
8. 黒點されたる太陽 1940年八月18日會員伊達英太郎氏撮影。
9. 大流星の寫眞 アンドロメダ大星霧と突如として闖入せる大流星。
10. ハリ大彗星 1910年接近の時の美しい寫眞。
11. 南十字星あたり 古來、南海を渡る人々に詠はれた南十字を中心として。
12. 北極週轉の姿 北極をめぐる星々の宇宙美と偶然飛んだ一流星。
13. ベルリン天文臺の大望遠鏡 口径65センチの大屈折望遠鏡。
14. ベルリン天文臺の大反射鏡 口径122センチの大反射望遠鏡。

天文寫眞（第2輯）一枚に付き金1圓也（送料共）

1. 火星の寫眞(3種1組) 1939年の夏、スライファアが撮つた貴重品。
2. ビケリング博士 火星面觀測者の座右に備ふべき寫眞。
3. 地球の形を見せる月蝕の寫眞 1923年三月2日の部分蝕。

天文寫眞（第3輯）一枚に付き金6圓也（送料共）

1. 月面の北半 1 キルツン山にある 世界一の 大反射鏡による月の寫眞、下弦の光に輝
2. 月面の南半 1 く山々と海。

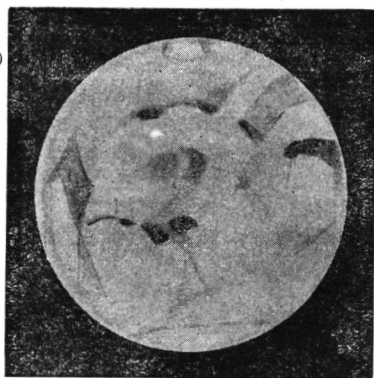
本會發行 新撰天文エハガキ 一組8枚 コロタイプ版 30錢 ⊕ 4錢 (1941年)
ブロマイド版 150錢 ⊕ 4錢

1. 木星面：昭和12年、會員渡邊恒夫氏が花山の30種の赤道儀にて觀察したもの。
2. 皆既月蝕の寫眞：昭和14年五月3日日本會員清水眞一氏が撮影したもの。
3. 火星のスケチ：大正15年の秋會員(故)中村要氏が觀察したもの。
4. ドナチ彗星：安政5年(1858年)の春、牧夫座に出現した大彗星。
5. 南十字座附近の寫眞：南洋に旅する人の憧れは此の“南十字”の星座である。
6. 太陽黒點の大寫し：昭和13年十一月9日、會員伊達英太郎氏が撮影したもの。
7. 冥王星：昭和5年(1930年)三月にロリエル天文臺に於いて行はれた發見。
8. ホクトリヤ天文臺の183種反射鏡：1918年建設された天文臺の大反射鏡。

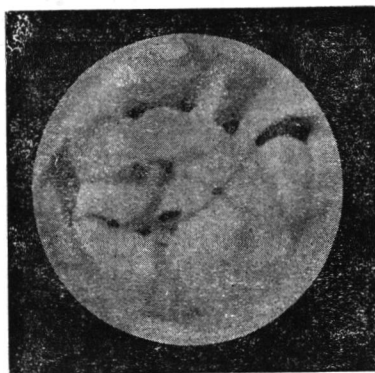
1941年十月の火星スケチ (2)

Sketches of the Mars, 1941 Oct.

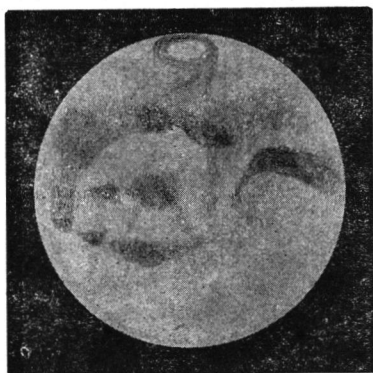
(7)
富田弘一
氏
H



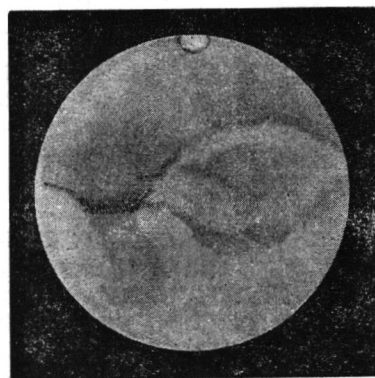
(8)
渡邊恒夫
氏
W



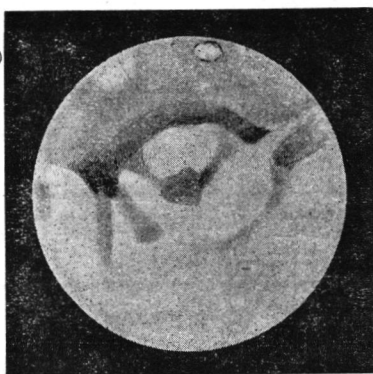
(9)
木邊成麿
氏
S



(10)
村山定男
氏
S. M.



(11)
瀧田正俊
氏
P



(12)
保積善太郎
氏
H



(7) Oct. 3,20.8^h. $\omega=103^\circ$

(9) Oct. 3,21.2^h. $\omega=106^\circ$

(11) Oct. 5,20.0^h. $\omega=95^\circ$

(8) Oct. 3,21.0^h. $\omega=109^\circ$

(10) Oct. 5,20.0^h. $\omega=80^\circ$

(12) Oct. 5,22.6^h. $\omega=98^\circ$

東亞天文協會

大正9年(1920年)創立, 昭和7年(1932年)改名

會長	山本一清	(滋賀縣草津町大路井420; 岡栗太郎上田上村桐生)
副會長	宮森作造	小槇孝二郎
理事	宮森作造	觀測部長 木邊成麿
專務理事	中村覺	經理部長 宇野良雄
教育部長	高城武夫	事業部長 大口周作
報導部長	山本一清	理事(無任所) 美田爲三

本部所在地	田上天文臺	滋賀縣栗大郡上田上
事務局所在地	滋賀縣堅田局區內	
經營する天文台	倉敷天文台	岡山縣倉敷市
大阪支部所在地	大阪市電氣科學館	プラネタリウム (大阪市四ツ橋)
臺灣支部	臺北市公會堂內	
黃道光觀測所	廣島縣沼隈郡瀬戸村	

東亞天文協會觀測部

1. 流星課 (課長 和歌山縣有田郡金屋 小槇孝二郎, 幹事 宇野良雄)
2. 彗星課 (課長 滋賀縣草津町大路井420 山本 進)
3. 變星課 (課長 木邊成麿, 幹事 小澤喜一)
4. 太陽課 (課長 缺, 幹事 靜岡縣志太郡吉永村吉永1768 大石辰次)
5. 黃道光課 (課長 田上天文臺 山本一清, 幹事 本田 實)
6. 豫報課 (課長 山本一清, 幹事 神田壹雄)
7. 機械課 (課長 滋賀縣野洲郡中里村木部 木邊成麿)
8. 寫眞課 (課長 大津市鹿關町 堀井政三)
9. 遊星圖課 (課長 兵庫縣川邊郡雲雀丘 伊達英太郎, 幹事 木邊成麿)
10. 掩蔽課 (課長 大阪市住吉區萬代東4の6 高城武夫)
11. 月面課 (課長 伊達英太郎)
12. 歷史研究課 (課長 兵庫縣武庫郡本山村岡本高石344 井本 進)

觀測部規定 (昭和6年11月22日制定)

- 第1條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ, 天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第2條, 第3條, 第6條 (略)
- 第4條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事ガ出來ル。
- 第5條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ東亞天文アレテン, 東亞天文協會急報並ビニ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。

御申込みは 滋賀縣堅田局區內 東亞天文協會 (電話は堅田郵便局)

(送金は安全, 確實な 振替口座 大阪56765番へ)

天界 第254號 昭和17年6月28日印刷 昭和平17年7月1日發行 (定價金40錢) 送料金1錢

編輯兼發行者	滋賀縣滋賀郡眞野村大字眞野513	東亞天文協會 (振替大阪56765) (代表者山本一清) { 日本出版文化協會第2種會員(第220038番)
發行所	同上	
印刷所	京都市上京區上樞木町千本東入	眞美印刷所 [電西陣3702]
印刷者	同上	橋本岩太郎
配給元	東京市神田區淡路町二丁目九番地	日本出版配給株式會社